

核兵器禁止条約がめざす

核兵器のない世界

くヒバクシャ国際署名の大きな役割

講師

日本原水爆被害者団体協議会
(日本被団協) 事務局次長

藤森 俊希氏

ふじもり ともき



条約採択を握手で喜び合う日本被団協の藤森俊希事務局次長(左)とカナダ在住の被爆者サーロー節子さん



○講師プロフィール○

1944年、広島市生まれ。早稲田大理工学部在学中東京で就職。1歳4カ月の時に、家族7人とともに被爆。4番目の姉が犠牲に。3番目の姉は7歳の次男をリンパ性急性白血病で亡くし、本人も被爆者に多い肝臓病で亡くなった。

母、カスミさんは、毎年8月6日、涙を流しながら子供たちに被爆体験を語り、つらい思いをしてなぜ話すかとの問いに「あんたらを同じ目にあわせとうないからじゃ」と言った。

定年後、「田舎に住みたい」という妻の希望で「スキーができてアユ釣りが楽しめる」長野県茅野市に転居。

2010年に長野県原爆被害者の会会長。12年から被団協事務局次長。各地で自分の体験を語っている。

(顔写真及び講師プロフィールは中日新聞より)

11月14日(火)

13時30分～15時

青森市福祉
増進センター **しあわせプラザ**

青森市本町4-1-3 ☎017-732-5314

どなたでも参加できます。

**入場
無料**



講演終了後、15時より同会場にて「ヒバクシャ国際署名をすすめる青森県連絡会」第2回総会を開催します。

被爆から72年を迎える2017年7月7日、国連で核兵器禁止条約が採択されました。藤森氏は3月の国連交渉会議で、被爆者代表として「同じ地獄を、どの国のだれにも絶対再現してはならない」と訴え、大きな反響を呼びました。多くのみなさまの参加をお待ちしております。

主催 ヒバクシャ国際署名をすすめる青森県連絡会

共催 青森県原爆被害者の会 原水爆禁止青森県民会議

原水爆禁止青森県協議会 青森県生活協同組合連合会

お問い合わせ 青森県生活協同組合連合会

☎017-766-1521